

平成 27 年度 特別支援学校機能強化モデル事業 成果報告

(1) 特別支援学校のセンター的機能充実事業

団体名	栃木県教育委員会
-----	----------

【事業概要】

1. 事業実施前の現状と課題

(1) 教員に求められる専門性、外部人材を活用した研修の実施等

本県においては、障害の重度・重複化、多様化に対応するために、一人一人に応じた指導を一層充実させることが課題となっていた。このことから、特別支援学校における自立活動の指導を一層充実させるため、校内指導体制を整え、外部専門家の知見を活用した研修会等を定期的を実施することにより、教師の実践的な指導力の向上を図ることを趣旨として、平成 25 年度から本事業を実施してきた。

(2) 特別支援学校の地域別・機能別役割分担の課題等

本県では、各県立特別支援学校の障害種別に応じて、地域の幼稚園・保育所（園）、小・中学校、高等学校等（以下「小・中学校等」という。）における特別支援教育のセンター的機能の充実を図る役割を担っている。

特別支援学校（視覚障害・聴覚障害）は県内全域、特別支援学校（肢体不自由・病弱）は県内それぞれ 2 つの地域を担当している。広範囲を担当するため、各市町教育委員会との連携を図ったり、センター的機能に関する情報を発信したりするなどの取組が重要となる。

特別支援学校（知的障害）は 8 つの地域に設置されており、それぞれの通学区域を担当地域としている。地域の関係機関との連携を図り、多様なニーズに対応しながら専門性を発揮して支援を行うことが課題である。

(3) 小・中学校等からの相談・支援のニーズと課題等

小・中学校等から研修機会の充実が要望として挙げられていることから、各特別支援学校の専門性を活用した研修の実施が課題となる。研修内容については、巡回相談等の機会に寄せられた意見や、研修会開催時に回収したアンケートの結果等を踏まえ、小・中学校等のニーズに対応したものとなるように各特別支援学校で取組を進めている。

2. 事業を通じて得られた成果と課題

(1) 指定校の専門性向上の方策等

昨年度に引き続き、各県立特別支援学校において、それぞれの障害種や児童生徒の実態等を踏まえ、学校の課題に沿ったテーマを設定し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の外部専門家等の知見を活用した研修を実施した。

さらに、今年度は、教師のより実践的な指導力の向上を図るため、児童生徒の障害の状態

等に応じた適切な教材・教具を活用した指導方法等について研究を進めた。また、特別支援学校の教員が県外特別支援学校を視察し、自立活動の取組や教材・教具の活用に関する情報を得てきた。視察内容について各特別支援学校へ伝達し、取組に生かすことができた。

(2) 特別支援学校の地域別・機能別役割分担の工夫等

県内全域において、各特別支援学校が障害種別に応じた特別支援教育のセンター的機能を発揮して、小・中学校等への支援の充実を図ることができるように、取組を進めた。

小・中学校等に実施した相談件数は毎年増加しており、成果が着実に現れている。また、担当する地域が広い特別支援学校においても関係機関等との連携について取組を進めている。

(3) 地域内の小・中学校等からの相談・支援のニーズに対する工夫等

小・中学校等への巡回相談では、市町教育委員会や担当部署からの要請を受け、市町の担当者と連携して支援を行った。

巡回相談の際には、小・中学校等のニーズに対応した支援が行えるように工夫している。視覚障害特別支援学校や肢体不自由特別支援学校においては、昨年度までに県内の公立の全小・中学校を対象にアンケート調査を実施したため、今年度は、調査結果を踏まえた取組を行っている。視覚障害特別支援学校では、見えにくさのある子供の指導・支援担当者を対象とした連絡会を開催したり、病院等の関係機関との連携を深めてニーズの掘り起こしを図ったりするなどの取組を進めた。肢体不自由特別支援学校では、小・中学校が手軽に利用できる相談・支援の方法を検討し、教材・教具の工夫、環境整備・安全面への配慮など、小・中学校等で必要とされる内容を検討し、情報を発信した。

3. 解決策(次年度の重点的取組等)

特別支援学校がセンター的機能を発揮するために、自校の専門性を向上させることが重要である。そのため、各特別支援学校において引き続き専門性を向上させる取組を展開する。校務分掌に位置付けられた自立活動に関する係が中心となって校内指導体制の整備を進め、事例検討を中心とした研修会を校内で開催する。事例検討では、指導場面を撮影し、VTRを基に子供の表出や他者との関わりの様子について協議するなど、これまで行われた効果の高い実践を各特別支援学校で行っていく。

4. 事業成果の維持・発展に向けた工夫や取組や方針

今後も特別支援学校の専門性の更なる向上を図り、センター的機能を発揮する取組に活用していく。専門性向上の取組としては、各特別支援学校において計画的に事例研究等を実施し、必要に応じて外部専門家の知見を活用する。事例の積み上げを図り、学校全体で取組の成果を活用できるようにする。また、小・中学校等の教職員を対象とした研修において事例検討の取組を発表するなどして、取組の成果を小・中学校でも活用できるようにする。

【推進地域及び指定校一覧】

栃木県全域	1	栃木県立盲学校
	2	栃木県立聾学校
	3	栃木県立のざわ特別支援学校
	4	栃木県立わかくさ特別支援学校
	5	栃木県立富屋特別支援学校
	6	栃木県立富屋特別支援学校鹿沼分校
	7	栃木県立岡本特別支援学校
	8	栃木県立今市特別支援学校
	9	栃木県立国分寺特別支援学校
	10	栃木県立栃木特別支援学校
	11	栃木県立足利特別支援学校
	12	栃木県立足利中央特別支援学校
	13	栃木県立益子特別支援学校
	14	栃木県立那須特別支援学校
	15	栃木県立南那須特別支援学校